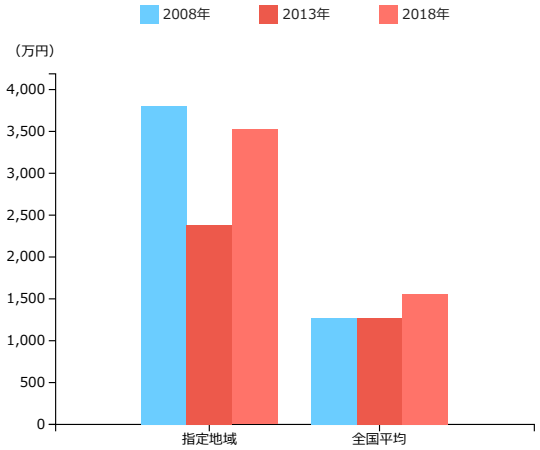
【目的】内水面漁獲物等販売金額（経営体あたり）の状況を把握し、販売額ベースでの経営体の規模を確認しよう。
※分析対象に自治体を選択している場合、その自治体を含む都道府県のデータを表示しています。

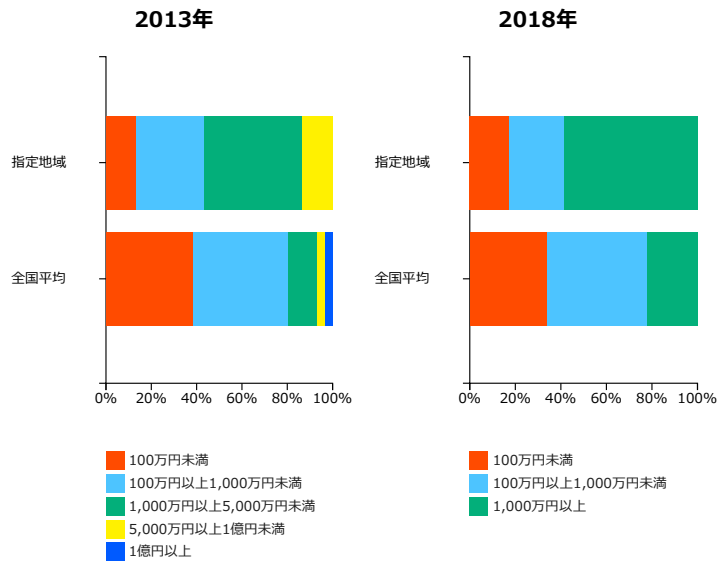
内水面漁獲物等販売金額（経営体あたり）

指定地域：宮城県



内水面漁獲物等販売金額帯別の経営体の割合

指定地域：宮城県



【出典】
農林水産省「漁業センサス」再編加工

【注記】
販売金額=Σ（各階層中位数×各階層経営体数）。最上位層の中位数は、1億5千万円として推計。
内水面漁獲物等販売金額は、湖沼漁業販売金額（湖沼における養殖の収獲物を含む。）及び内水面養殖販売金額の計である。
2018年より湖沼漁業販売金額の販売金額層が変更され、「1000万円以上」が最上位層となっている。（最上位層の中位数は2500万円として推計）。
このため、2008年、2013年の金額とは厳密には接続しない。

【参照メニュー】
産業構造マップ→水産業→内水面漁獲物等販売金額→グラフ表示

グラフから読み取れること	2018年の内水面漁獲物等販売金額（経営体あたり）は、全国平均より高い。 2018年において、最も増加している内水面漁獲物等販売金額帯別の経営体の割合は「1,000万円以上」であり、2013年と比較して16ポイント増加している。